

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	泉大津市立上條小学校	階数	地上3F
建設地	大阪府泉大津市東助松町	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	541 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,920 時間/年(想定値)
建物用途	学校,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2029年1月 予定	評価の実施日	2024年11月1日
敷地面積	13,568 m ²	作成者	森貞剛志
建築面積	2,358 m ²	確認日	2024年11月2日
延床面積	6,084 m ²	確認者	稻田直子

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.8 </p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★ A+: ★★★★ B+: ★★★ B: ★★ B-: ★ C: ★</p> <p>環境品質 Q 環境負荷 L</p>	<p>30% ★★★★★ 60% ★★★★ 80% ★★★ 100% ★★ 100%超*</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100% ②建築物の取組み 85% ③上記+②以外の 85% ④上記+ 85%</p> <p>(kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したもの</p>	<p>Q2 サービス性能 Q3 室外環境(敷地内) Q1 室内環境 LR1 エネルギー LR3 敷地外環境 LR2 資源・マテリアル</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)
Q 環境品質
Q1 室内環境
Q1のスコア = 3.4
Q2 サービス性能
Q2のスコア = 3.6
Q3 室外環境 (敷地内)
Q3のスコア = 3.0
LR 環境負荷低減性
LR1 エネルギー
LR1のスコア = 4.2
LR2 資源・マテリアル
LR2のスコア = 3.3
LR3 敷地外環境
LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項	その他
総合	
児童の生活の場、地域交流の場、防災拠点としての機能性、耐久性、安全性を備えた学校施設となるよう計画した。特に、児童が多様な活動ができる機能的な空間づくり、防犯環境等に配慮し、児童が安心安全に学べるよう、これらを視覚的に分かりやすく計画した。地域の人々が親しみやすく、地域のシンボルとなるようなデザインとした。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能
教室間の騒音対策として、間仕切は遮音性能を持たせ、天井は吸音効果のある材料を選定している。省エネルギー対策として外壁断熱、庇を設置している。	水廻りの仕上げ材は防汚性のある壁、床材を選定している。建築基準法の1.25倍の耐震性を持たせている。乾式間仕切を採用し、将来改変に対応し易くなっている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル
居室外壁面の断熱、空調、換気設備は全熱交換器、環境配慮型器具の高機能のものを選定、庇による空調負荷の軽減等、省エネルギー対策に取り組んでいる。	衛生器具省エネルギーシステム(節水型便器、自動水栓等)を取り入れている。リサイクル可能な部材を使用している。
Q3 室外環境 (敷地内)	LR3 敷地外環境
中庭、読書テラス、芝生のグラウンド、サブグラウンド等の多様な外部空間を計画している。敷地境界沿いに植栽帯を設け、景観に配慮している。	グラウンドに、蒸発冷却作用の高い芝生を採用し、温熱環境負荷の軽減に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存 2024V1.2

【建物概要】 建物名称		泉大津市立上條小学校															
建設地		大阪府泉大津市東助松町															
用途／区分		学校(小中高)															
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A											
①	CO2削減					4											
②	みどり・ヒート アイランド対策					3											
③	断熱性能					5											
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外				評価対象外										
④	エネルギー消費性能					5											
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外				評価対象外										
	非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分					4											
⑤	自然エネルギー直接利用																
	再生可能エネルギー	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—										
	利用施設の導入状況	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—										
	エネルギー消費量の報告						報告しない										
【評価項目】																	
項目	評価内容						スコア										
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮						3.6										
② みどり・ヒートアイランド対策							4										
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出						2.0										
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3.2 敷地内温熱環境の向上						3.0										
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環 2.2 温熱環境悪化の改善						3.0										
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制						5.0										
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化						4.6										
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用						3.0										
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。						報告する 報告しない										
その他																	
先進的技術の導入	<table border="1"> <thead> <tr> <th>技術の名称</th> <th>考慮事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>						技術の名称	考慮事項									
技術の名称	考慮事項																
特に配慮した事項																	